

# 宝木校区人権推協だより

平穩に暮らす権利を守るために

副会長 山下 文人

この頃、人権について話をすると、「まだそんな活動をやっていないの」とか、「もう差別は無くなったじゃないの」と反論されることがしばしばあります。確かに、表立って差別を口にする人は見なくなりまし、長年の活動の成果もあり、人々の意識が良い方向に変わってきていることも事実だと思えます。ただ、それをもって差別や人権侵害が本当に無くなったかという

と、必ずしもそうとは言い切れない気がしています。今回、改めて侵害してはいけないとされる「基本的人権」について調べてみました。文献によると、「基本的人権とは人が生まれながらに持っている、誰からも侵されない権利で、日本国憲法の三つの基本原理の一つで

す。」とありました。なかなか難しい表現ですが、平たく言うと、人権とは「人が人として、社会の中で、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利」、全ての人

が生まれながらに持っている権利だそう

です。あくまでも私見ですが、「幸福に」という言葉は、「平穩に」あるいは「普通に」という言葉に置き換えることもできるのではないかと考えています。日常、様々な人権侵害に関する事柄がニュースなどで取り上げられて

います。「普通に」暮らす権利を侵すことは全て人権侵害という

ことになりません。そう考えると、前段の人権問題は無くなったのかという問いに対しては「無くな

ってはいない」ということになると

思います。これからは新しい人権に関する問題は出てくるでしょうし、それらを含めた問題を解決する

ことは至難の技だと思えます。しかし、個人としてできること

とは異なるのかと考えたとき、原点(基本)に立ち返って、今自分は、自分の周りの人の平穩に普通に暮らす権利を脅かしてないか、あるいは、それを守ろうとして

いるかを考えること、そして行動することはできるのではないかと

思っています。それができれば新しい問題に対しても対応できると思

いますし、自分としてはそれができる人間でありたいと思

っています。

ことは至難の技だと思えます。

しかし、個人としてできることとは異なるのか

と考えたとき、原点(基本)に立ち返って、今自分は、自分の周りの人の平穩に普通に暮らす権利を脅かしてないか、あるいは、それを守ろうとして

いるかを考えること、そして行動することはできるのではないかと

思っています。それができれば新しい問題に対しても対応できると思

いますし、自分としてはそれができる人間でありたいと思

っています。

## 就任のご挨拶

人権啓発推進員 谷澤 讓

この度、宝木校区人権啓発推進員をお受けすることとなりました。

私が現在勤めている会社は鳥取市内約70社が加盟する人企連「鳥取市人権啓発企業連絡会」

に加盟しております。私は、会社全店の人権教育推進担当として

社外研修会・講演会・リーダー養成研修等に参加し、年間計画を

立案するなど「職場の人権」を主なテーマとした社内人権研修に携わってきました。

人権啓発推進員にと声をかけられた時は、どこまでお役に立てるか正直不安もありましたが、もしかしたら経験が少しでも活かせるかも、また、地域でお役に立てるかもしれない良い機会と思

い引き受けさせていただきました。

地域の皆様が繋がり、小地域懇談会や講演会などに少しでも関心をもって参加して、人権問題を身近なものに感じていただければと思

います。そして、「多様性」を認めお互いの人権を尊重し合い、研修を

積んでいくことによって、差別や人権侵害に立ち向かい、絶対に加害者にも被害者にもならない

明るく暮らしやすい地域社会が続いていくことを願っています。

微力ですが、少しでもお役に立てればと思

っていますのでどうぞよろしくお願

い致します。

部落選出人権学習推進員

集 落	名 前
上 光	高 浜 耕 之 輔
上 光	富 川 嘉 孝
下光元	北 村 公 男
下光元	植 田 邦 彦
夏ヶ谷	居 川 尚 子
夏ヶ谷	秋 山 智 博
常 松	奥 田 英 雄
富 吉	吉 田 智
宝 木	吉 田 定 弘
宝 木	藤 井 隆 司
水 尻	山 本 典 浩
水 尻	池 本 義 美
奥沢見	澤 本 英 人
酒 津	谷 澤 讓
酒 津	河 崎 弘 義

役 員 名 簿

職 名	集 落	名 前	区 分
会 長	夏ヶ谷	秋山 智博	解放同盟気高支部長
副会長	富 吉	吉田 和行	宝木地区公民館長
	酒 津	山下 文人	酒津地区公民館長
人権啓発推進員	夏ヶ谷	秋山 智博	解放同盟気高支部長
	宝 木	小塩 信親	人権啓発推進員
	酒 津	谷澤 讓	人権啓発推進員
部落代表幹事	酒 津	河根 裕二	部落区長・福祉委員
	上 光	高浜 耕之輔	部落区長・福祉委員
	下光元	北村 公男	部落区長・福祉委員
	夏ヶ谷	居川 清春	部落区長・福祉委員
	常 松	奥田 英雄	部落選出人権学習推進員
	富 吉	吉田 智	部落区長・福祉委員
	宝 木	吉田 定弘	部落区長・福祉委員
	水 尻	山本 典浩	部落区長・福祉委員
	奥沢見	澤本 英人	部落区長・福祉委員
	監 査	酒 津	島崎 誠吾
夏ヶ谷		藤本 千里	学識経験者
顧 問	酒 津	入江 徹	学識経験者
事務局	宝 木	森 浩美	宝木地区公民館
	酒 津	寺谷 真由美	酒津地区公民館

事業の予告

◆視察研修



宝木校区民の方を対象に、校区外に出かけ、人権学習を行う予定です。詳しい日程等は、またお知らせいたします。

◆小地域懇談会

例年9月頃より各部落で開催予定です。テーマに沿ってDVDを視聴し学習します。多くの参加をお待ちしております。

本年度、宝木校区人権啓発推進協議会では、人権課題を意識するための学習会を計画しております。多くの方々に参加いただき、校区全体で人権感覚を高めていきましょう。

編集後記

令和6年度 事業予定

期 日	会	研 修	広 報
4月	監査会		
5月	総会(10日)		
6月	三役会		
7月	三役会	推進員全体研修会	各種研修・講座・講演会 人推協だより発行
8月			
9月			
10月			
11月			
12月		推進員全体研修会	
1月	三役会・役員会		
2月			
3月	三役会		人推協だより発行